

## 事業概要

**コンソーシアム名：**桑陽病院ICT推進チーム

**事業概要：**桑陽病院のカルテ電子に伴い、カルテと各部門システムを連携することで、業務の効率化と医療安全の確保を実現する。

## 【取組地域】

・山口県防府市・地域

## 【対象業種】

・医療法人

## 【対象業務】

・医業

## コンソーシアム構成員

**幹事者：**医療法人米沢記念桑陽病院

**ユーザ企業：**医療法人米沢記念桑陽病院

**ITベンダー等：**(株)アステム

ニプロ(株)、(株)リントック、ソフトマックス(株)

(株)島津製作所、インフォコム(株)

## 現状の業務課題

診療オーダーリングシステムを導入しているものの、あくまで紙カルテのため、オーダーリングシステムへの入力とカルテへの記載という2重の作業が発生しており非常に煩雑な業務となっている。転記作業によって記録のミスも散見される。また紙カルテ管理（作成・運搬・保管管理）に多大な時間と場所を要している。

## 連携させるITツール

PlusUsV3：電子カルテ及び医事会計システム  
BTD@X2 SE：輸血管理システム  
その他全15ツール（詳細は次スライド）

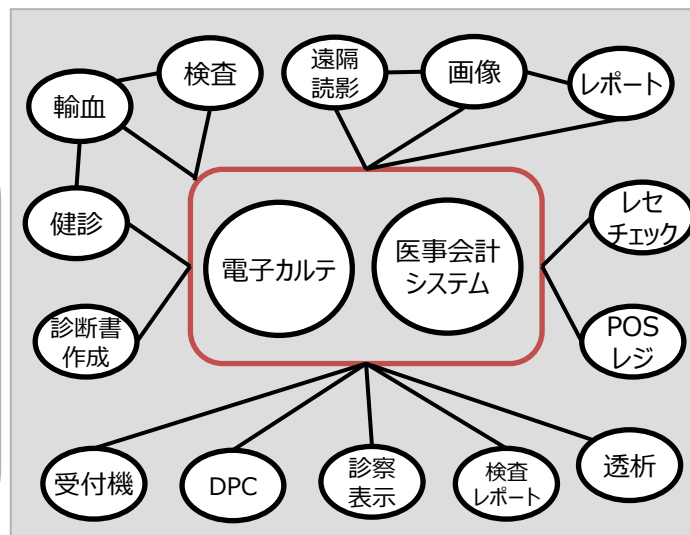
## 主な取組内容

## カルテの電子化及び各部門システムとの連携（新規導入部門システム含む）

電子カルテと各部門診療支援システムの連携を実現し、紙カルテ及び紙伝票類を廃止する。それに伴いモノの運搬、管理を廃止する。また患者情報及び部門間の情報を電子カルテ上に一元化することによって、業務の効率化及び医療安全が向上を目指す。

●業務フロー改善点：【外来診療】紙カルテの作成・運搬が必要なくなり、診療前後にスタッフが受付と診察室を行き来することが不要となる。各部門にて来院情報が瞬時に確認できる。【入院診療】入院カルテの作成不要。これまで紙に手書きしていた入院時の送付を電子カルテ上で行う。【各部門】指示を受けた際、カルテの記事を随時確認できることによる確かな検査等を実施することが可能。輸血システムを新規導入したことにより、これまで台帳管理していた製剤管理をシステム上で行うことができる。また製剤管理・患者管理・実施管理までを電子カルテ上で一元化でき安全で効率的な輸血の実施が可能となる。リハビリシステムの新規導入（電子カルテ搭載）により、患者毎・セラピスト毎の実施単位数の管理がシステム上で実施可能となり医事システムにも反映される。

●ユーザー意見の反映：カルテの展開の仕方及び設定（プロフィール設定、テンプレート設定、色わけ、オーダーボタンの増設等）、オーダーと帳票の紐づけ、外来MAPの新規作成等診療フローに即したシステム設定を実施



## 次年度以降の展望

当該中小企業ユーザーにおける業務の効率化と医療安全の実現。  
他医療機関への水平展開時のコスト及び時間の削減

## 定量的な成果目標

## ①労働生産性（事業終了後）

1年後：3%、2年後：5%、3年後：9%

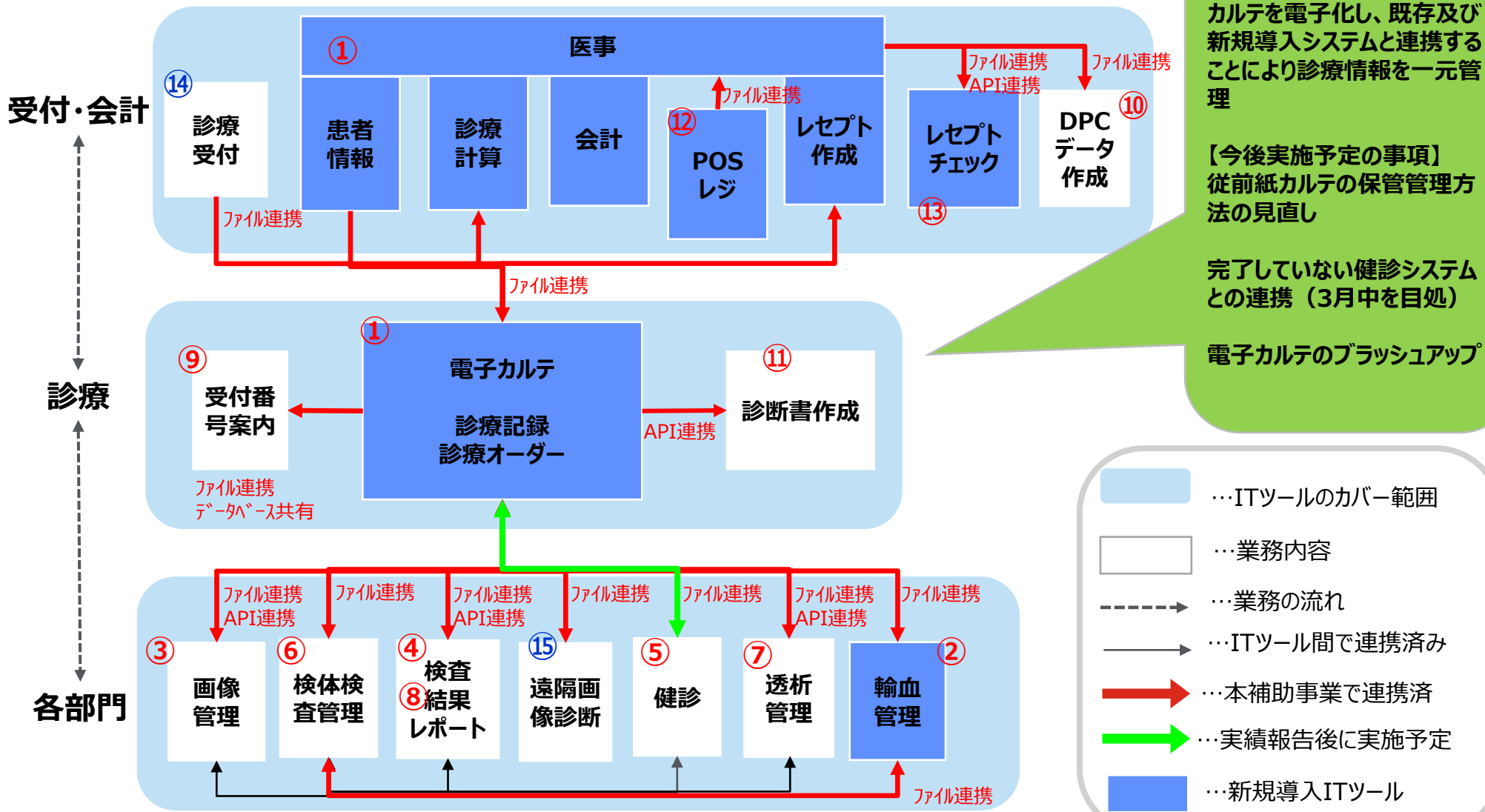
## ②カルテ管理に係る業務量の削減率（事業終了後）

1年後：50%、2年後：80%、3年後90%

1. PlusUs-カルテ：電子カルテ及び「PlusUs-医事」：医事会計システム
2. BTD®X2 SE：輸血管理システム
3. 医用画像PACS SYNAPSE WZ-U：医用画像の閲覧
4. レポートシステム：検査所見記入と院内配信
5. 健診システム：健診業務全般（⇒ 補助事業期間内に完了せず取下げ）
6. 臨床検査システム（DMS）：検体分析装置との連携による臨床検査業務
7. DiaCom iS：透析情報管理システム
8. Itsシステム：検査依頼受付と結果報告
9. MERSYS-id：診察状況表示システム
10. Medi-Bank：DPC様式1オプション
11. MEDI-papyrus：診断書作成システム
12. 窓口用精算機 HPW-8700(ECS-777)：POSレジシステム
13. べてらん君 collaboration Plus：レセプト点検業務
14. 自動再来受付機 APS-2100M：自動再来受付業務（補助事業外）
15. Tele-RAD：遠隔読影システム（補助事業外）

紙カルテを電子カルテにすることで、診療にかかる記録と指示がシステム上で一元管理され、大幅に業務が効率化するとともに、システム上で、指示と患者と実施者の3点チェックが可能となり医療安全につながる。紙カルテ保管管理に係る業務が不要となる。

### ITツールの連携による生産性向上の取組（アフター）



【実績報告までの実施事項】  
カルテを電子化し、既存及び新規導入システムと連携することにより診療情報を一元管理

【今後実施予定の事項】  
従前紙カルテの保管管理方法の見直し

完了していない健診システムとの連携（3月中を目処）

電子カルテのブラッシュアップ